



全国で夢をかなえる 安曇野人

INTERVIEW

子どもの頃に安曇野で感じたアナログな感性
作品と人のつながりを作る

太田 貴寛さん(36・穂高出身)

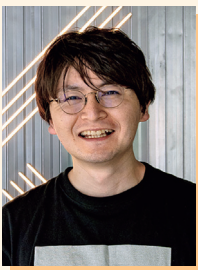
田植えや稲刈りなど、月に1回安曇野に帰省した際の自然の中の生活や親戚の集まり……。その体験が今のアイデアにも生かされています。子どもの頃から何かを作るのが好きで、映画監督を目指して大学へ進学。卒業制作では、子どもの頃に過ごした安曇野を舞台に作品を作りました。当時、母の実家に集まる親戚や近所の人が減ってきていたため、思い出の家を残したいという思いを込めました。その後、手に職をつけたいとVFXの道へ。

現在は会社の代表を務め、創業5年目。社員約90人と共にCMや映画、配信動画などを年間約300本企画・制作しています。多くの

アイデアを試しながら一つのものを作り上げることにやりがいを感じています。完成した作品が次につながることも。



株式会社KASSEN CEO・VFXスーパーバイザー。BUMP OF CHICKEN「なないう」MV、映画「約束のネバーランド」に携わる。来年公開のオリジナルアニメーション作品の制作にまい進中。



最近、SNSで作品を発表している人と一緒に制作する機会も増えてきました。将来は、東京のスタジオや全国の制作者をつなぎ、地方でも働きやすくワクワクできる事務所を作るのが夢です。それが安曇野で出来たらうれしいですね。川のせせらぎや季節の移ろい。デジタルな仕事だからこそ、子どもの頃に安曇野で培ったアナログな感性やつながりを大切に、これからも作品づくりに向き合っていきます。

※ VFX: Visual Effectsの略。主にCGを用いて現実には存在しないものを映像に合成したり、既存の映像を加工したりする技術。



全国で夢をかなえる 安曇野人

INTERVIEW

らしさを磨き目指すはM-1優勝
いつか安曇野で生の笑いを届けたい

村田 優斗さん(32・豊科高家出身)



地元の友達には芸人をやっていることを言っていないんです。小学生の頃は野球に夢中でした。中学で一度やめた野球を高校で再開しようか迷っていた時、テレビで見た「めっちゃイケ」が芸人を志すきっかけに。当時からクラスでは、いじられたり面白いことを言う存在で「いつかテレビで会いましょう」と冗談を言っていました。

東京の大学に進学し、お笑いサークルを見学。現在も活躍する芸人仲間の面白さに圧倒され、「大学生でこんなに面白い人がいるのか」と自信をなくし、卒業後は不動産会社に就職。それでも芸人の夢をあきら



芸歴8年。東京Zの23期。自分がないものが全部ある和泉さんと世界クジラを結成し4年目。同期は令和ロマン。安曇野での思い出は中学時代に男女で行ったあづみ野祭り。

めきれず、NSC吉本総合芸術学院へ。和泉壮さんと出会い、4年前に「世界クジラ」を結成しました。現在は月20回ほどのライブや動画配信に向け、ネタ作りに明け暮れる日々。2人の世界観を一致させ、コンビとして笑ってもらえるネタを作る作業は思った以上に大変ですが、最近は「自分たちらしさ」を見つけることがテーマ。それがM-1優勝にもつながると信じています。いつか安曇野で県内出身の芸人とイベントを開き、エンタメを地元から発信したいと思っています。そしてそこで、友達や家族に芸人の自分を見てもらい喜んでもらうことが今の夢です。



全国で夢をかなえる 安曇野人

INTERVIEW

自ら考え・行動する
安曇野が掲げる教育理念で目指す全国聖覇

曾山 加奈子さん(38・三郷明盛出身)



兄の試合の応援に行った際、急ぎよ出場して点も取らせてもらえたことが、サッカーを始めたきっかけです。小中学校ではスポーツ少年団やクラブチームで競技を続けてきました。長野トレセンで一緒だった先輩が聖和学園高校に進学したことを知り、サッカー中心の生活ができる環境に魅力を感じ、両親を説得して進学。そこでゴールキーパーに転向し、フィールドプレイヤーとの連携を深めるため、意思疎通を必死に考え努

力しました。自分の指示で複数のディフェンダーを動かし、シュートコースを限定しセーブする。その時々状況に応じて、選手の特性など多くの情報を瞬時に判断し伝える力が身についたのは大きな財産です。現在は監督として母校の指導に携わっています。大切にしているのは、サッカーに限らず、それぞれのステータジで活躍できる人を育てること。自分で考え、行動できる力を養ってほしいと思っています。中学時代に親身に接し、きつてもやり切る姿勢を教えてくれた指導者たちの姿を今の自分に重ねながら、全国制覇を目指すチーム作りに励んでいます。



元サッカー女子日本代表GK。聖和学園高等学校(仙台市)・秋田大学へと進学し、2010年に日テレ・ベレーザに加入。2016年に引退後、聖和学園高等学校女子サッカー部の監督を務めている。



全国で夢をかなえる 安曇野人

INTERVIEW

ふるさとへの愛をキャラクターに込めて
安曇野を知るきっかけを作り続ける

徳竹 舞さん(28・豊科出身)



ります。まだ来たことのない皆さんが「つにてんてん」のキャラクターや楽曲をきっかけに安曇野を知り、いろいろな入り口から安曇野を訪れるきっかけを作りたいと思っています。この活動を通して安曇野に訪れる観光客や移住者が増え、市から全国へ彼女たちと安曇野の名が共に広がるように今後も活動を続けます。



東京で元プロデューサーとしてキャラクター関係の仕事に携わり、本年9月にUターン。故郷のために何かしたいと思い「つにてんてん」プロジェクトを始動